

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	51	学 校 名	島田商業高等学校（定時制）	記 載 者	増田 章江
------	----	-------	---------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	(ア) 事故、いじめのない学校作り	相談できる教職員が校内にいる生徒 80%	A	A	
		防災訓練により防災意識が高まったと答える生徒 80%	B		
		ネットに起因するトラブル 0	A		
	(イ) 特別支援体制の充実	ユニバーサルデザインに係る実践を共有する機会（研修）を 2 回設定	A	A	課題を抱えている生徒に寄り添った指導が素晴らしい。
		教員研修を 2 回実施	A		
イ	(ア) 生徒の基礎学力向上	ICT 機器を活用するなど、教え方や教材に工夫があると答える生徒 80%	A	A	個々の生徒にフォーカスした取組が成果を上げている。
		国数英において、基礎力診断テストを年 2 回実施する。 授業は自分の学力を伸ばすのに役立っていると答える生徒 80% 宿題やテスト、検定、補習など授業以外の部分についても、きちんと指導が行われていると答える生徒 80%	A		
	(イ) 商業に関する知識・技能の習得	各種検定合格率 50%	A	A	
		商業に関する専門的な知識・技能を習得した生徒 90%	A		
ウ	(ア) 基本的生活習慣の確立	自ら挨拶ができ、言葉遣いに気を付けている生徒 80%	B	B	個々の生徒の変容を捉えていくことは、特に定時制の生徒にとっては大切なことである。
		欠席、遅刻、早退数が昨年度より減少している生徒 80%	B		
		提出物の期限を守っている生徒 70%	A		
	(イ) 健康増進のための取組み	欠席、遅刻、早退数が昨年度より減少している生徒 80%	B	B	
エ	(ア) 法令に基づいた適正・迅速な業務遂行	人為的要因による学校経営予算の執行残 0	A	A	
		監査・会計指導での指摘事項 0	B		
	(イ) ワークライフバランスを意識した業務執行	改革を意識した業務の見直し、平準化	A	A	

